

2019年 司法試験 試験結果

2019年 司法試験の合格率は33.6%!

2008年以来の3割台へ復帰!

旺文社 教育情報センター 2020年4月8日

2019年5月に行われた司法試験の結果は、受験者数4,466人、合格者数1,502人で、合格率は33.6%となった。2006年に現行の司法試験制度になり、合格率が3割~4割台だったのは最初の3年だけ。2009年以降はずっと2割台で低迷していたが、久々の3割台復帰となった。

受験者数と合格者数は、過去2番目の少なさ。ただし、もっとも少ないのは初年度の2006年で、受験者には初年度の既修者コース修了者しかいなかった年だ(受験者数=2,091人、合格者数=1,009人)。未修者や再チャレンジ組が受験者に含まれるようになってからは、今回が過去最少となる。

(本記事のデータはすべて法務省発表資料による)

●2019年 司法試験の概要

【試験実施】2019年5月15日・16日・18日・19日

【合格発表】2019年9月10日

【受験者数】4,466人(対前年14.7%減)

【合格者数】1,502人(同1.5%減)

【合格率】

- ・全体…33.6%(同4.5ポイントアップ)
- ・既修者…40.0%(同6.8ポイントアップ)
- ・未修者…15.6%(同0.1ポイントアップ)

【合格者男女比】

- ・男性1,136人(75.63%)
- ・女性366人(24.37%)

■2019年 既修者・未修者別 合格状況

	既修者	未修者
受験者数	2,252	1,829
合格者数	901	286
合格率(%)	40.0	15.6

■過去3年間の試験結果

	2017年	2018年	2019年
受験者数	5,967	5,238	4,466
合格者数	1,543	1,525	1,502
合格率(%)	25.9	29.1	33.6

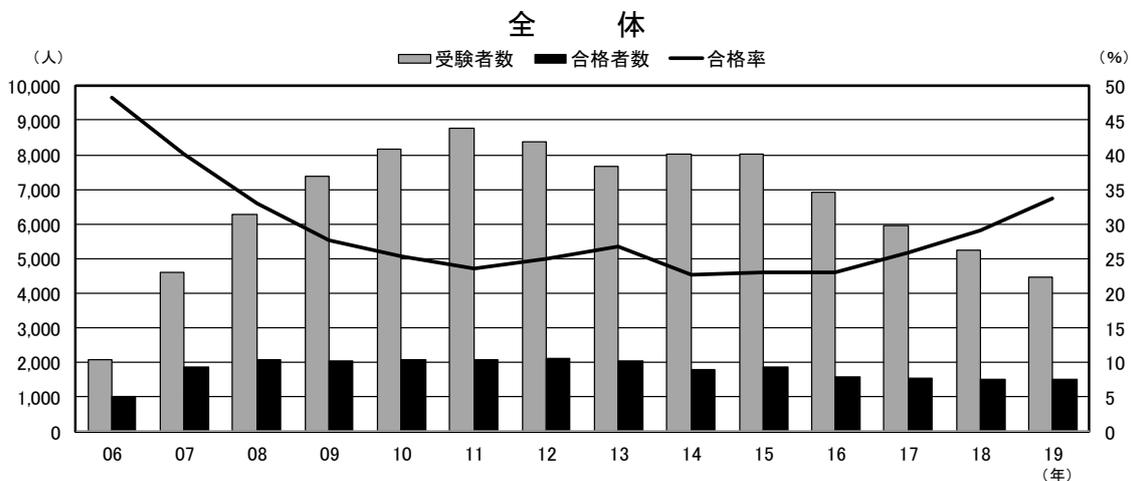
●2019年 法科大学院別 合格状況

	全体			既修者			未修者		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
北海道大法科大学院	104	25	24.0	59	19	32.2	45	6	13.3
東北大法科大学院	52	20	38.5	38	17	44.7	14	3	21.4
筑波大法科大学院	77	18	23.4	16	6	37.5	61	12	19.7
千葉大法科大学院	61	12	19.7	40	8	20.0	21	4	19.0
東京大法科大学院	238	134	56.3	143	111	77.6	95	23	24.2
一橋大法科大学院	112	67	59.8	70	52	74.3	42	15	35.7
横浜国立大法科大学院	52	9	17.3	12	2	16.7	40	7	17.5
新潟大法科大学院	8	0	0.0	1	0	0.0	7	0	0.0
金沢大法科大学院	28	4	14.3	8	4	50.0	20	0	0.0
信州大法科大学院	14	3	21.4	2	1	50.0	12	2	16.7
静岡大法科大学院	13	2	15.4	1	1	100.0	12	1	8.3
名古屋大法科大学院	67	25	37.3	34	17	50.0	33	8	24.2
京都大法科大学院	201	126	62.7	145	112	77.2	56	14	25.0
大阪大法科大学院	112	46	41.1	52	27	51.9	60	19	31.7
神戸大法科大学院	130	44	33.8	104	37	35.6	26	7	26.9
島根大法科大学院	7	1	14.3	0	0	-	7	1	14.3
岡山大法科大学院	42	7	16.7	9	2	22.2	33	5	15.2
広島大法科大学院	39	14	35.9	17	7	41.2	22	7	31.8
香川大法科大学院	7	1	14.3	2	1	50.0	5	0	0.0
九州大法科大学院	59	20	33.9	36	17	47.2	23	3	13.0
熊本大法科大学院	20	0	0.0	1	0	0.0	19	0	0.0
鹿児島大法科大学院	4	0	0.0	0	0	-	4	0	0.0
琉球大法科大学院	34	5	14.7	3	1	33.3	31	4	12.9
東京都立大法科大学院	96	22	22.9	80	19	23.8	16	3	18.8
大阪市立大法科大学院	55	9	16.4	30	7	23.3	25	2	8.0
北海学園大法科大学院	12	0	0.0	1	0	0.0	11	0	0.0
東北学院大法科大学院	1	0	0.0	0	0	-	1	0	0.0
白鷗大法科大学院	2	0	0.0	0	0	-	2	0	0.0
大宮法科大学院大学	9	2	22.2	0	0	-	9	2	22.2
駿河台大法科大学院	6	0	0.0	0	0	-	6	0	0.0
獨協大法科大学院	10	1	10.0	2	1	50.0	8	0	0.0
青山学院大法科大学院	33	4	12.1	10	1	10.0	23	3	13.0
学習院大法科大学院	51	6	11.8	36	5	13.9	15	1	6.7
慶應義塾大法科大学院	300	152	50.7	218	128	58.7	82	24	29.3
國學院大法科大学院	19	3	15.8	6	2	33.3	13	1	7.7
駒澤大法科大学院	20	0	0.0	7	0	0.0	13	0	0.0
上智大法科大学院	96	11	11.5	49	9	18.4	47	2	4.3
成蹊大法科大学院	41	8	19.5	21	6	28.6	20	2	10.0
専修大法科大学院	56	7	12.5	35	6	17.1	21	1	4.8
創価大法科大学院	65	16	24.6	16	7	43.8	49	9	18.4
大東文化大法科大学院	29	1	3.4	6	0	0.0	23	1	4.3
中央大法科大学院	384	109	28.4	288	92	31.9	96	17	17.7
東海大法科大学院	7	2	28.6	3	1	33.3	4	1	25.0
東洋大法科大学院	13	0	0.0	3	0	0.0	10	0	0.0
日本大法科大学院	96	14	14.6	51	12	23.5	45	2	4.4
法政大法科大学院	61	7	11.5	39	5	12.8	22	2	9.1
明治大法科大学院	162	26	16.0	88	21	23.9	74	5	6.8
明治学院大法科大学院	10	1	10.0	1	1	100.0	9	0	0.0
立教大法科大学院	58	7	12.1	31	5	16.1	27	2	7.4
早稲田大法科大学院	252	106	42.1	151	83	55.0	101	23	22.8

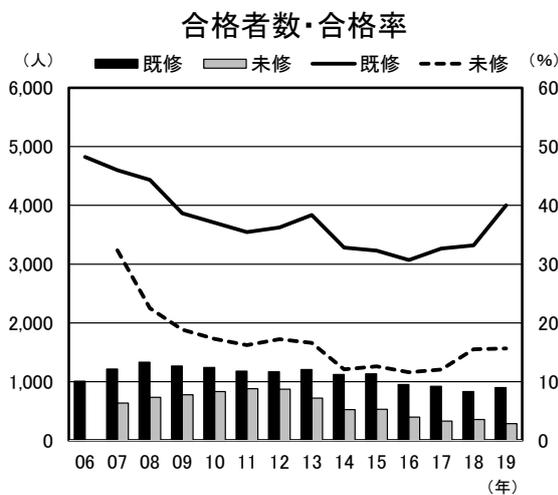
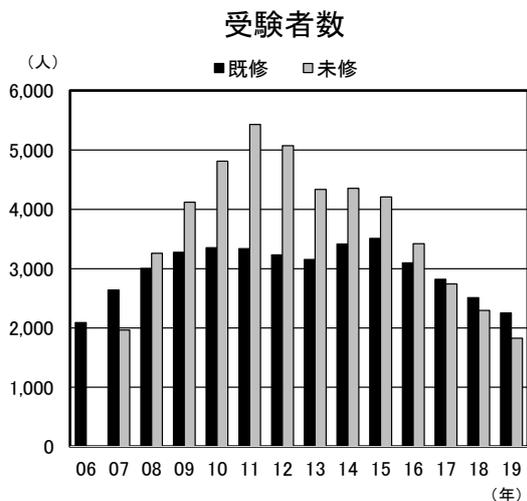
	全体			既修者			未修者		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
神奈川大法科大学院	9	2	22.2	1	0	0.0	8	2	25.0
関東学院大法科大学院	12	1	8.3	0	0	-	12	1	8.3
桐蔭横浜大法科大学院	31	4	12.9	0	0	-	31	4	12.9
山梨学院大法科大学院	16	1	6.3	1	0	0.0	15	1	6.7
愛知大法科大学院	10	2	20.0	2	0	0.0	8	2	25.0
愛知学院大法科大学院	7	3	42.9	7	3	42.9	0	0	-
中京大法科大学院	14	3	21.4	1	0	0.0	13	3	23.1
南山大法科大学院	28	4	14.3	4	2	50.0	24	2	8.3
名城大法科大学院	17	1	5.9	5	0	0.0	12	1	8.3
京都産業大法科大学院	15	1	6.7	6	0	0.0	9	1	11.1
同志社大法科大学院	117	9	7.7	79	8	10.1	38	1	2.6
立命館大法科大学院	114	24	21.1	69	21	30.4	45	3	6.7
龍谷大法科大学院	16	0	0.0	5	0	0.0	11	0	0.0
大阪学院大法科大学院	4	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.0
関西大法科大学院	69	12	17.4	51	7	13.7	18	5	27.8
近畿大法科大学院	19	2	10.5	2	0	0.0	17	2	11.8
関西学院大法科大学院	63	12	19.0	24	4	16.7	39	8	20.5
甲南大法科大学院	34	4	11.8	22	3	13.6	12	1	8.3
神戸学院大法科大学院	1	0	0.0	0	0	-	1	0	0.0
広島修道大法科大学院	12	1	8.3	2	0	0.0	10	1	10.0
久留米大法科大学院	3	0	0.0	0	0	-	3	0	0.0
西南学院大法科大学院	28	1	3.6	4	0	0.0	24	1	4.2
福岡大法科大学院	17	3	17.6	0	0	-	17	3	17.6
法科大学院合計	4081	1187	29.1						
予備試験合格者	385	315	81.8						
総計	4,466	1,502	33.6	2252	901	40.0	1829	286	15.6

●受験者数等推移

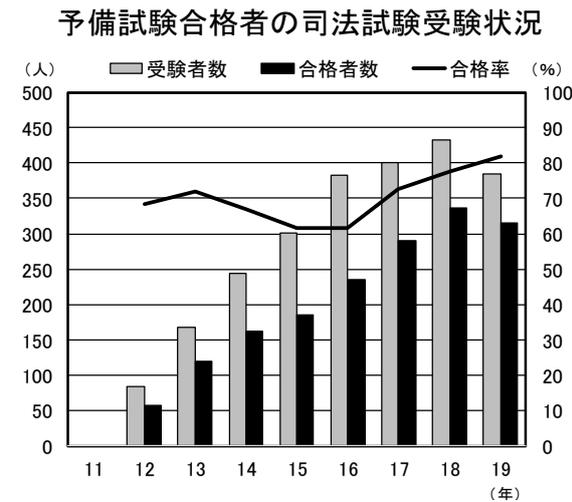
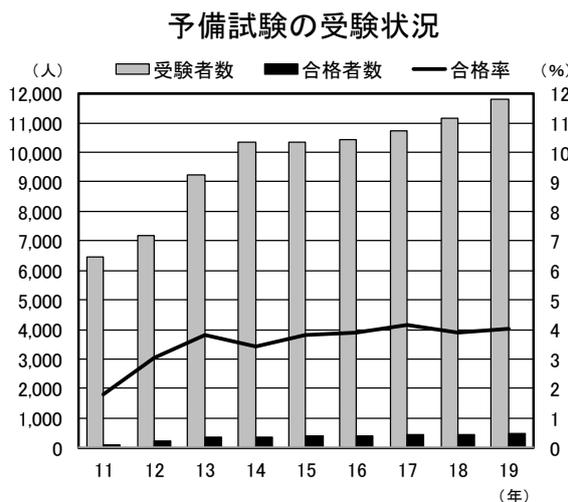
【全体】



【既修・未修別】



【予備試験】



報道等では予備試験合格者の司法試験の合格率の高さが取り上げられがちで、2019年は8割を超えた。予備試験に合格すれば、法科大学院を修了していなくても司法試験の受験資格が得られることで、法曹への近道、抜け道のようなイメージがある。

しかし当然、まずは予備試験そのものに合格しなければならず、それ自体が合格率4%程度の超難関となっている。

予備試験に合格すると、翌年度以降の5年の間に司法試験を受験することができる。必ずしも翌年度に受験するとは限らないので、予備試験受験からの司法試験の合格率を算出することはできない。しかし仮に、前年の予備試験受験者数を当てはめてみると、「2018年予備試験受験者数=11,136人」「同 合格者数=433人」「2019年司法試験受験者数=385人」「同 合格者数=315人」で、「合格率=2.8%」となる。